

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-191	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	C I 050-902	PANORAMA English Communication 1 Revised		

1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法並びに学習指導要領に則って、外国語を学ぶことを通じて、豊かな人間性と創造性、自律性を備えた人間として、我が国社会の形成・発展に貢献できるとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる人材を養うための教科書を目指し、下記のような点に配慮した。

◎国際社会の一員として幅広い知識と教養を身に付けるために、生徒にとって身近な話題から、社会的・国際的な視点につながるような教材を題材とした。

◎英語という言語を使って考えたり自分の意見を人に伝えたりするための言語活動をバランスよく取り入れた。

◎自律的な学習者として生涯にわたり外国語学習を続けるために必要な英語および学習のヒントをコラム等で示した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1 Words to Live By	3人の人物の名言とエピソードを読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 14-25
Lesson 2 My Experience Abroad	3人の大学生の海外での体験を読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第1号、第5号)	pp. 26-37
Lesson 3 Our Feline Friends	ネコの人間との関わり方の歴史や生態についての研究結果を読むことで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号)	pp.40-51
Lesson 4 Work in the Future	社会の変化に伴う職業の変化や必要とされる能力について読むことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した。(第2号)	pp.52-63
Lesson 5 My Favorite Food: Rice	お米が日本の文化にどのように取り入れられてきたのか、世界でどのように食べられているのかについて読むことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp. 66-79
Lesson 6 A Long Way Home	インドの少年に実際に起こった出来事について読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 80-93
Lesson 7 Can You Read Faces?	顔の表情にまつわる文化論や対面コミュニケーションの大切さについて読むことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第3号)	pp. 96-109

Lesson 8 Make People Shine: Choreo-director, MIKIKO	演出振付家 MIKIKO さんの仕事に対する考え方や向き合い方について読むことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した。(第2号)	pp. 110-123
Lesson 9 Our Desire to Fly	人類の飛行の歴史について読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 126-139
Lesson 10 Loving the Earth	先人たちが訴えてきた地球の大切さについて読むことで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号)	pp. 140-153
Supplementary Reading The Strange Voyage of Neptune's Car	厳しい状況で船の舵取りを任されることになった若い女性の奮闘を読むことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと、また正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第2号、第3号)	pp. 154-158
英語学習のヒント	自分に合った英語学習法を探すヒントを示すことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した。(第2号)	p. 13

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に掲げられた目標を達成するため、実用的な英語運用能力の育成と、生涯にわたって学習を継続する自律的学習者育成を目指し、下記のような点に配慮した。

- ◎生徒の学習意欲を高めるため、学校生活や家庭生活に関連した身近なテーマの題材を多く取り入れる。
- ◎高校英語に無理なく移行するため、中学での既習事項と関連づけながら、基礎・基本の定着を図る。
- ◎4技能5領域をバランスよく統合した活動を工夫する。
- ◎文法はコミュニケーションを支えるものという立場に立ち、実際に英語を使用する場面を多く設定する。
- ◎写真やイラスト、図表等を適切に使い、学びやすさへ配慮する。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-191	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅠ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	C I 050-902	PANORAMA English Communication 1 Revised		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 4技能5領域を一体的に育成する。

- ・日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと、読んだことの要点をつかみ、聞き手・書き手の意図を把握することができるように、要約などの内容確認問題を充実させ、またリテリングで情報を整理する活動や、聞き・読んだ内容、テーマについて自分はどう考えるか・どう思うかを発表させる、書かせる、生徒同士で話し合わせるなどの活動を盛り込んだ。
- ・選択肢や会話のモデル、注など、言語活動に必要な支援を盛り込んだ。
- ・5つのアイコン（聞く、読む、話す、やり取りする、書くポーズを取るカモメのイラスト）を活動に添えることで、そのコーナーで何の技能を主に使うのかが一目でわかるように工夫し、5領域のバランスの取れた構成をこころがけた。

(2) 高校英語に無理なく移行する。

- ・各レッスンの本文総語数はLesson 1の300語程度からゆるやかに増えていくよう配慮した。また、新語の出現率が高くないように配慮した。
- ・文法事項・文構造については、中学校の項目の復習に重点を置き、また前に学習した文法が出てきた時には再度おさらい・確認ができるように「グラマーリサイクル」マークを施した。
- ・文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法用語の使用は最小限に抑え、どういった場面で使うのかという観点から説明するよう心がけた。

(3) 指導しやすく、学びやすい教科書。

- ・1レッスンを3～4パートに分け、各パートを見開き2ページで構成して授業で学習する内容が一目でわかるよう工夫した。
- ・生徒の学習意欲を高めるため、生徒に身近な話題を多く取り上げ、そこから社会的な視点につながるよう工夫した。
- ・写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫した。

■各レッスンの構成■

1. レッソンの導入ページ（見開き2ページ）

【左ページ】 見開きにまたがる写真を見ながら、当該レッスンで学習するテーマに関わるQuestionについて考える。

- ・Goals & Activities：そのレッスンでどのようなことを学び、どのようなことができるようになるのかを知る。

【右ページ】

- ・Warm-up：レッスンに関連したテーマについての会話を聞き、それについてペアでやり取りし考えを伝え合う。

2. 本文ページ（1パート2ページ見開き）

【左ページ】

- ・本文：英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。そのパートで学ぶ主な文法事項は「G」マークで示し、またすでに学んだ文法のおさらいをする文法事項には「」（グラマーリサイクル）マークをつけることで、スパイラルに文法事項を学べるようにした。内容理解の確認として、3つの文章を聞いて本文の内容に合う1文を選ぶリスニング問題を用意した。なおQRコードから本文の音声を聞くことができる。
- ・傍注：新出単語を掲載した。なおQRコードから新出単語の音声を聞くことができ、フラッシュカードを使用することができる。
- ・脚注：1段目に本文中の重要フレーズを掲載した。2段目には、英文を理解する上で注意したいリーディングストラテジーについての問い、3段目には、新出の固有名詞や難しい語句に対する注記を掲載している。4段目には、発音で留意したい点を示した。なおQRコードから重要フレーズの音声を聞くことができ、フラッシュカードを使用することができる。

【右ページ】

- ・Key Ideas：本文のポイントを尋ねる3つの質問に答えることで内容理解を確認する。
- ・The Gist：本文の要約文を穴埋めで完成させることで内容理解を確認する。
- ・Think and Talk：本文のテーマについてペアでやり取りし、考えを伝え合う。
- ・Grammar：そのパートで学ぶ文法事項についてポイントを示す。

3. 各レッスン末（4ページ）

【1ページ目】

- ・Comprehension Check A：True or Falseのリスニングで、本文の内容理解を確認する。
- ・Comprehension Check B：1. グラフィック・オーガナイザーで本文の内容を整理する。
2. 1. をもとに、写真などを見ながらリテリングをする。

【2ページ目】

- ・Test Your Skills：そのレッスンのターゲットタスクとして、本文のテーマに関連した内容で、まずリスニングをし、さらに4技能5領域のいずれかにフォーカスを当てたタスクで言語活動を行う。

【3ページ目】

- ・Language in Action：言語材料を使うドリルで定着を図る。

①ターゲット文法を使った練習問題

②新出単語を使った練習問題

③重要語句を使った練習問題

④ターゲット文法を使って3文の英文を書く練習問題

【4ページ目】

- ・Listening Tips：リスニングに必要なコツを示し、実際の音声で試す。
- ・Check Your Progress：Goals & Activitiesで目標としたことができるようになったか生徒が自分でチェックする。

4. Supplementary Reading：補充的読み物教材を用意した。

5. 見返し、コラム、付録類：

- ・前見返しと目次に各レッスンテーマと関連するSDGsアイコンを掲載し、学習を世界の課題と結び付け、広い視野を涵養することができるよう図った。
- ・扉の対向ページでPunctuationを紹介することで、読み手にわかりやすい文章を書く手立てとした。
- ・巻頭に、英文法の基礎知識、英語の発音、辞書の使い方などのコラムを設けることで、中学英語からの橋渡しを図った。
- ・巻頭に、英語学習のヒントのコラムを設け、自分に合った学習方法を見つけるヒントを与えることで、自律的

な英語学習者となるよう促すことを図った。

- ・ Vocabulary Skills、 Reading Skills、 Speaking Skillsなどのコラムで、英語を効率的に学習するためのストラテジーを紹介した。
- ・ 巻末に、「文法を使って話してみよう」を設けることで、言語活動を通して、各レッスンのGrammarを整理し、理解を助けることを図った。
- ・ 後ろ見返しに「Classroom English」を掲載し、授業で頻出する英語表現を示すことで、学習の便宜を図った。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容										該当箇所 (ページ)	配 当 時 数	
	(1)	(2)	(3)										
			①						②				
			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ			
Lesson 1 Words to Live By	ア、イ、 ウ、エ (7)(4)g	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)			(7)		(7)	(7)	(4)、(5)、 (10)、(11)	14-25	6
Lesson 2 My Experience Abroad	ア、イ、 ウ、エ (7)(4)e	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)(4)			(7)		(7)	(7)(5)	(4)、(5)、 (10)、(11)	26-37	6
Lesson 3 Our Feline Friends	ア、イ、 ウ、 エ(7)(4) a、d	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)	(7)		(7)		(7)	(7)(4)	(4)、(5)、 (10)、(11)	40-51	6
Lesson 4 Work in the Future	ア、イ、 ウ、 エ(7)(4)g	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)	(4)		(7)		(7)(4)	(7)	(4)、(5)、 (10)、(11)	52-63	6
Lesson 5 My Favorite Food: Rice	ア、イ、 ウ、 エ(7)(4)a	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)			(7)	(7)	(7)	(7)(5)	(4)、(5)、 (10)、(11)	66-79	7
Lesson 6 A Long Way Home	ア、イ、 ウ、 エ (7)(4)a、f	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)			(7)		(7)	(7)	(4)、(5)、 (10)、(11)	80-93	7
Lesson 7 Can You Read Faces?	ア、イ、 ウ、 エ (7)(4)a、b	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)(4)	(4)		(7)		(7)	(7)(4)	(4)、(5)、 (10)、(11)	96-109	7
Lesson 8 Make People Shine: Choreo-director, MIKIKO	ア、イ、 ウ、 エ (7)(4)a、h	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)	(7)		(7)		(7)	(7)(5)	(4)、(5)、 (10)、(11)	110-123	7
Lesson 9 Our Desire to Fly	ア、イ、 ウ、 エ (7)(4)b、 c、e	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)(4)	(4)		(7)		(7)	(7)(4)	(4)、(5)、 (10)、(11)	126-139	7
Lesson 10 Loving the Earth	ア、イ、 ウ、 エ(7)(4)g	ア、イ、 ウ	イ、ウ、 エ、オ、 カ	(7)(4)	(4)		(7)(4)	(4)	(7)	(7)	(4)、(5)、 (10)、(11)	140-153	7
Supplementary Reading The Strange Voyage of <i>Neptune's Car</i>	イ、ウ、 エ(7)	ア、イ	ウ									154-158	4
Punctuation	イ											トビラ対向	1
英文法の基礎知識	エ(7)、(4)											8-10	1
英語の発音	ア											11	1
辞書を使ってみよう	ウ											12	1
英語学習のヒント												13	1
Vocabulary Skills	ウ											38、64、	2

											94、124	
Reading Skills					(7)(4)					(7)	39、95	2
Speaking Skills											65、125	2
「事実」と「意見」の区別は なぜ重要なのか						(4)					154-155	1
文法のまとめ	エ(7)、(4)										161-170	2
Phrase List	ウ										171	
Word List	ウ										172-179	
Classroom English											後ろ見返し	1
											計	85